

発行:平成21年1月23日

エコアクション21

環境活動レポート

《平成20年度》



株式会社 齋藤工務店

<http://saitoukoumuten.web.fc2.com>

株式会社 齋藤工務店

代表取締役 齋藤 正人

〒421-0201 静岡県焼津市上小杉977

TEL:054-622-0235 FAX:054-622-0454

E-mail: saitoukoumuten@ai.tnc.ne.jp

目 次

1. 事業活動の概要
2. 実施体制
3. 環境方針
4. 環境負荷の状況と環境目標
5. 短期環境目標と環境活動計画及び評価結果
6. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無
7. 代表者による全体評価と見直し結果



1. 事業活動の概要

事業者名 株式会社 斎藤工務店

代表者名 代表取締役 斎藤 正人

所在地 事業所: 〒4210-0201 静岡県焼津市上小杉977番地
その他: 資材置場、駐車場

事業内容

総合建設業(特定建設業・一般建設業)、産業廃棄物収集運搬業

許可を受けた建設業	許可番号	許可年月日	有効年月日
土木工事業	静岡県知事許可(特 - 19)第4173号	平成19年7月30日	平成24年7月29日
建築工事業			
とび・土工工事業			
ほ装工事業			
水道施設工事業			
造園工事業	静岡県知事許可(般 - 19)第4173号		
産業廃棄物 収集運搬業	静岡県中部保健所長許可 第2201132599号	平成19年1月11日	平成24年1月10日

環境管理責任者 斎藤 兼司

連絡先 窓口担当者(環境事務局) 栗本 初美
TEL: 054-622-0235
FAX: 054-622-0454
E-mail: saitokoumuten@ai.tnc.ne.jp
URL: <http://saitokoumuten.web.fc2.com/>

事業の規模

設立年月日(法人)	昭和40年5月
資本金	20百万円
売上高	357百万円
受託した産廃量	626 t
従業員数	14名
床面積	640 m ²

(平成20年度)

(平成20年度)

(平成20年度)

廃棄物に関する情報公開項目

1) 許可の内容

許可	許可番号	許可年月日	有効年月日
産業廃棄物 収集運搬業	静岡県中部保健所長許可 第2201132599号	平成19年1月11日	平成24年1月10日

2) 事業の範囲

事業の区分	収集運搬(積替え及び保管行為を除く)
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず、木くず 以上 6品目

3) 施設等の状況

運搬車輛種類 (登録台数:3台)	機種	型式、寸法	自動車登録番号	載荷量
	いすゞ	ダンプ 2t車	静岡400 た 43-44	2000kg
	三菱	ダンプ 2t車	静岡45 ひ 52-25	2000kg
	日産	ダンプ 4t車	静岡11 ひ 80-00	3750kg

積替え保管なし

4) 運搬実績 (平成20年度)

廃棄物の種類	運搬量(t)
アスコンがら	464
コンクリートがら	161

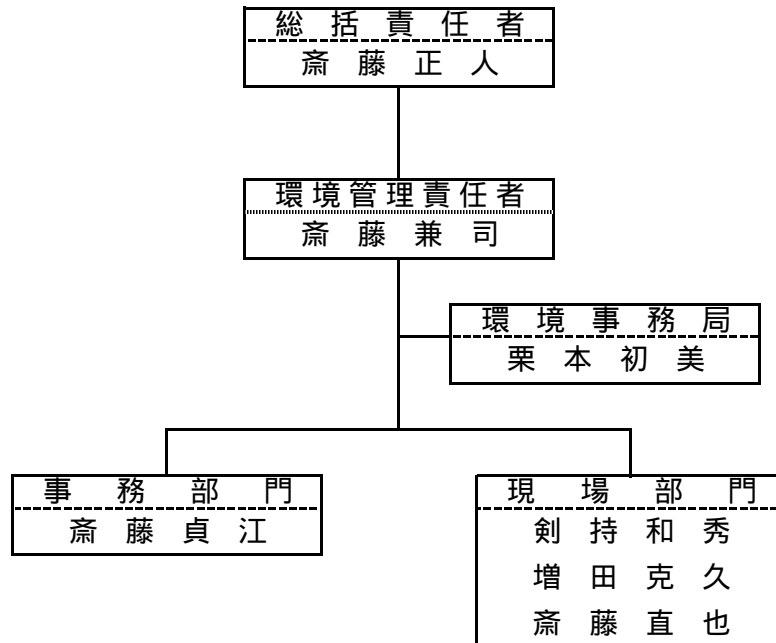
5) 産業廃棄物処理料金等の問い合わせ先

処理料金	収集運搬料金につきましては、種類・量・距離により計算致します。 当社、「斎藤兼司」までご相談下さい。 無料にて御見積致します。
------	---

2.実施体制

環境目標に向けての活動は、下記組織にて行い、全体的活動として取り組みます。

【実施体制図】



< 連絡先 >

静岡県焼津市上小杉977番地
TEL (054) 622 - 0235
FAX (054) 622 - 0454

< 総括責任者 >

環境システムの最高責任者

- ・環境方針を策定
- ・環境責任者を指名する
- ・資源(人材、資金、技術)の用意
- ・システムの評価と見直し

< 環境管理責任者 >

**環境システムの総責任者として、役割権限を他の責任
に関わらず持つ**

- ・システムの実績を代表者に報告
- ・外部からの苦情等窓口

< 環境事務局 >

環境管理責任者の補佐

- ・全体計画の立案
- ・文書の作成、管理
- ・一般教育の実施

< 事務部門 >

- ・部門の計画立案
- ・実施状況の確認

< 現場部門 >

- ・部門の計画立案
- ・作業教育の実施
- ・システムの実施状況の確認

3.環境方針

基本理念

株式会社 斎藤工務店は、総合建設業を通じて環境にやさしい活動を行い、環境負荷を低減すると共に地域社会との共存を図り、自社及び地域社会の発展に貢献します。

環境活動方針

- 1 当社の事業活動により発生する環境負荷を低減し、目標を定め、定期的に見直し、継続的・向上的な環境改善に取り組みます。

運搬車輛・重機等で使用する化石燃料の削減及び事務所での電気(電力)・ガス使用量の削減により二酸化炭素排出量の削減

廃棄物の削減と、リサイクルの推進

産業廃棄物についても可能な限りリサイクルを推進し、
受託した場合は、適正に処理されているか、マニフェスト伝票で確認

事務所・現場での節水、雨水・川水の利用

事務用品のグリーン購入の推進

- 2 当社の事業活動に関わる環境関連法規制等を遵守する。
- 3 環境活動レポートを公表し、地域社会とのコミュニケーションを図る。
- 4 この環境活動方針は、教育や日常活動を通じて、全社員に周知する。

平成 19 年 7 月 20 日

株式会社 斎藤工務店

代表取締役 齋藤 正人

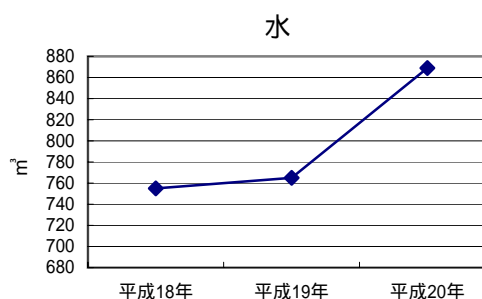
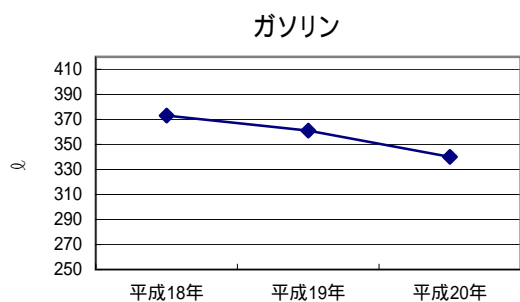
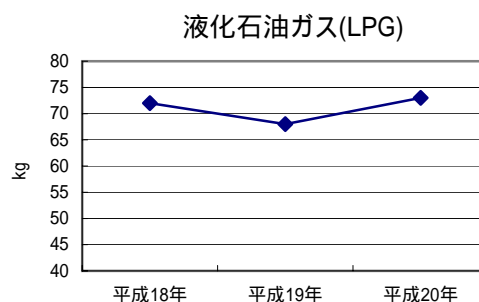
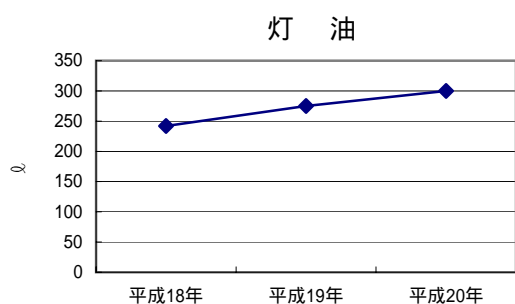
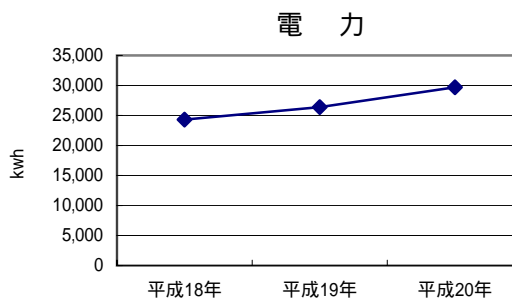
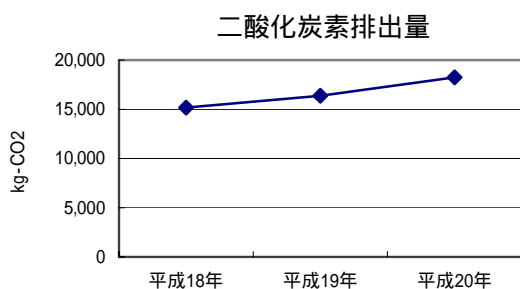
4. 環境負荷の状況と環境目標

1. 環境負荷の状況

弊社の事業年度は、1月1日～12月31日です。
平成18年は、平成18年1月1日～平成18年12月31日を示します。

< 事務部門 >

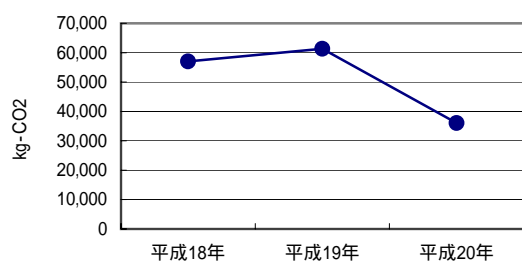
項目	単位	平成18年	平成19年	平成20年
二酸化炭素排出量	kg-CO2	15,174	16,379	18,238
電力	kwh	24,304	26,392	29,694
灯油	ℓ	242	275	300
液化石油ガス(LPG)	kg	72	68	73
ガソリン	ℓ	373	361	340
水	m ³	755	765	869
一般廃棄物	t	0.26605	0.26366	0.22640



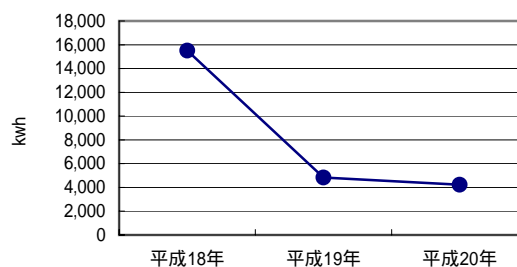
< 現場部門 >

項目	単位	平成18年	平成19年	平成20年
二酸化炭素排出量	kg-CO2	57,034	61,336	36,049
電力	kwh	15,516	4,835	4,223
灯油	ℓ	7,147	8,122	3,090
ガソリン	ℓ	13,186	12,457	7,709
軽油	ℓ	5,493	3,616	3,088
水	m ³	46	52	52
産業廃棄物 リサイクル率	%	100	100	100

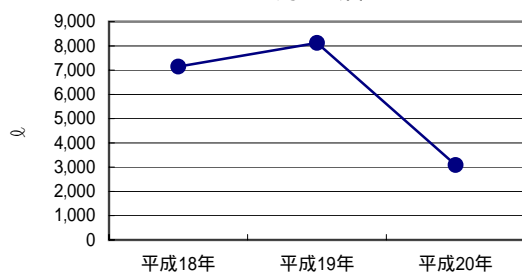
二酸化炭素排出量



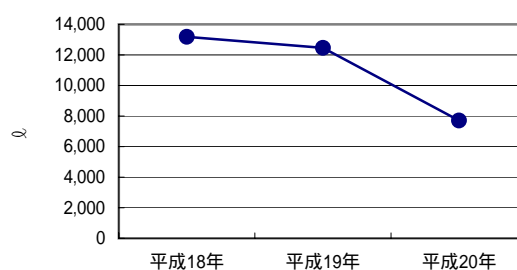
電力



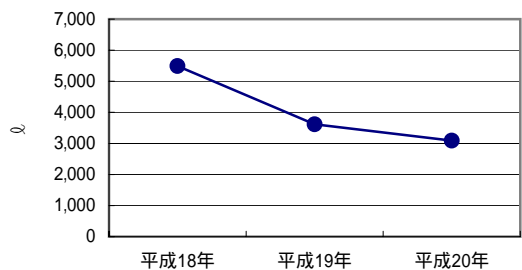
灯油



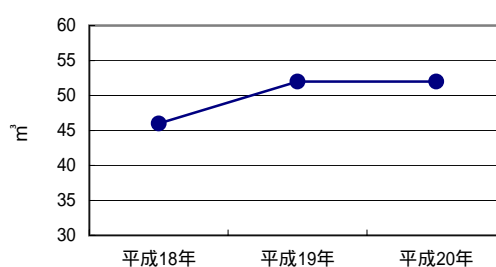
ガソリン



軽油



水



2. 環境目標

平成20年の実績を基準とし、各項目に対して以下の目標とする。

< 事務部門 >

項目	単位	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		平成20年1月1日～平成20年12月31日		平成21年1月1日～平成21年12月31日		平成22年1月1日～平成22年12月31日	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績
目標率(平成20年を基準とする)			-	99%	-	98%	-
二酸化炭素排出量	kg-CO2	16,215	18,238	18,055		17,873	
電力	kwh	26,133	29,694	29,397		29,100	
ガソリン	ℓ	357	340	336		333	
水	m ³	757	869	860		852	

目標 ・毎年1%削減する。

- ・灯油、液化石油ガス(LPG)は、負荷も少なく、無駄使いもしていないので目標はたてません。
- ・一般廃棄物も同様に負荷が少なく、目標としては取り上げておりませんが、廃棄物の分別、リサイクル利用を引き続き徹底していく。

< 現場部門 >

項目	単位	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
		平成20年1月1日～平成20年12月31日		平成21年1月1日～平成21年12月31日		平成22年1月1日～平成22年12月31日	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績
目標率(平成20年を基準とする)			-	99%	-	98%	-
二酸化炭素排出量	kg-CO2	60,722	36,049	35,688		35,328	
電力	kwh	4,783	4,223	4,180		4,139	
ガソリン	ℓ	12,332	7,709	7,631		7,555	
軽油	ℓ	3,579	3,088	3,057		3,026	
水	m ³	51	52	51		50	
産業廃棄物リサイクル率100%	%	100	100	100		100	

目標 ・毎年1%削減する。

- ・灯油は、負荷も少なく、無駄使いもしていないので目標はたてません。
- ・一般廃棄物も同様に負荷が少なく、目標としては取り上げておりませんが、廃棄物の分別、リサイクル利用を引き続き徹底していく。

5. 短期環境目標と環境活動計画及び評価結果

事務所及び施工業務における資源の消費抑制

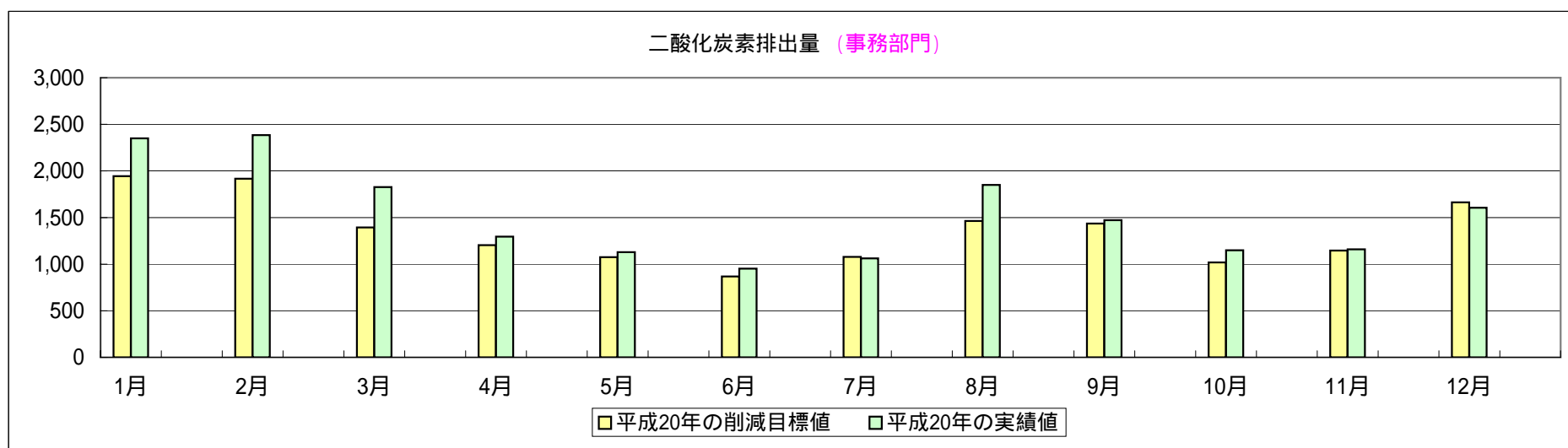
二酸化炭素排出量の削減について

A. 短期目標と実績及び結果

事務部門

〔二酸化炭素〕

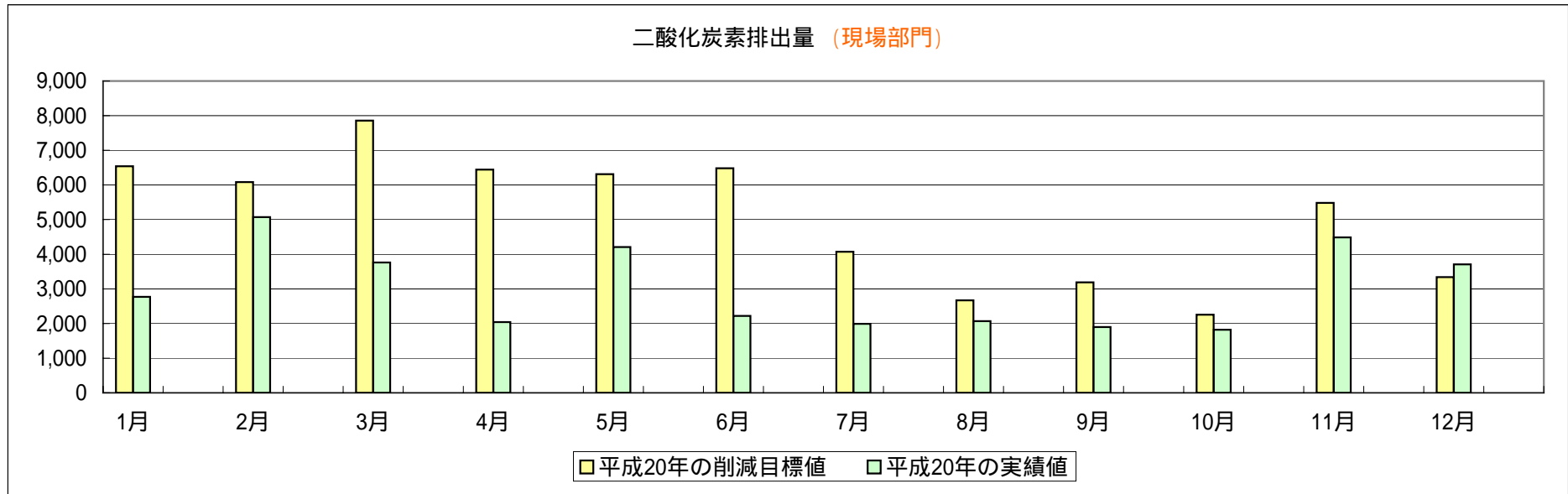
項目	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計
平成19年の実績値	kg-CO2	1,963	1,936	1,407	1,216	1,086	877	1,088	1,478	1,450	1,028	1,158	1,680	16,367
平成20年の削減目標値(前年同期間比)	kg-CO2	1,943	1,917	1,393	1,204	1,075	868	1,077	1,463	1,436	1,018	1,146	1,663	16,203
平成20年の削減目標率(前年同期間比)	%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
平成20年の実績値	kg-CO2	2,350	2,384	1,827	1,295	1,129	952	1,062	1,850	1,472	1,148	1,159	1,605	18,233
	%	119.7%	123.1%	129.9%	106.5%	104.0%	108.6%	97.6%	125.2%	101.5%	111.7%	100.1%	95.5%	111.4%
結果	-	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×		×



現場部門

【二酸化炭素】

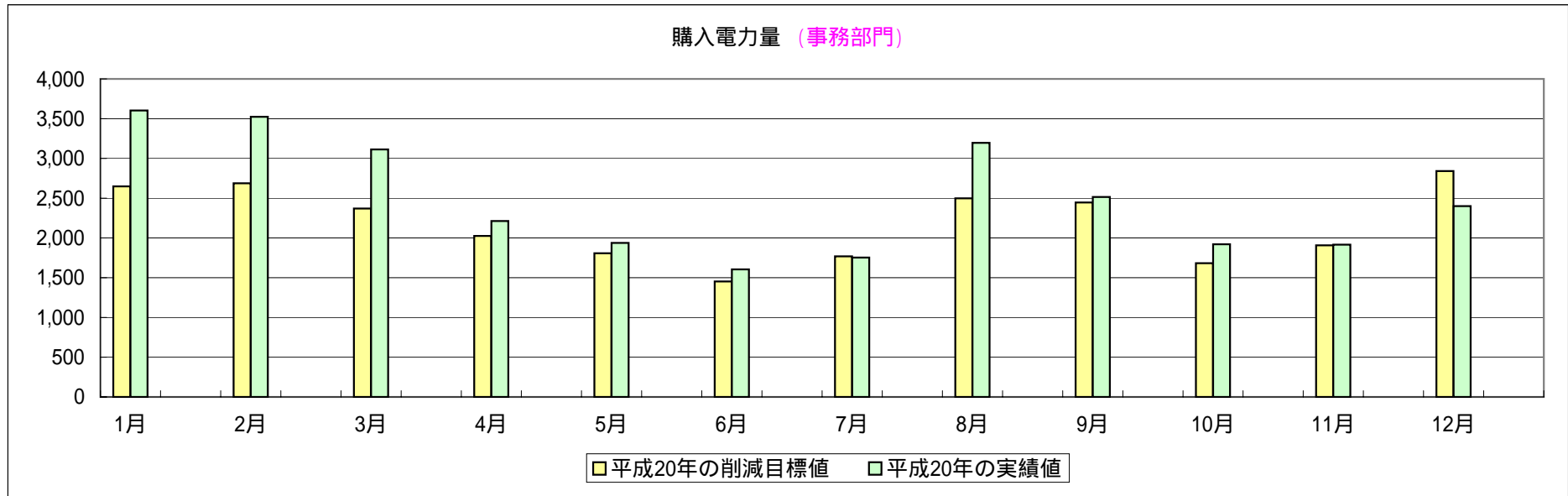
項目	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計
平成19年の実績	kg-CO2	6,604	6,143	7,937	6,508	6,374	6,547	4,112	2,695	3,222	2,279	5,537	3,373	61,331
平成20年の削減目標値(前年同期間比)	kg-CO2	6,538	6,082	7,858	6,443	6,310	6,482	4,071	2,668	3,190	2,256	5,482	3,339	60,718
平成20年の削減目標率(前年同期間比)	%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
平成20年の実績値	kg-CO2	2,772	5,073	3,763	2,041	4,206	2,219	1,990	2,067	1,899	1,820	4,486	3,708	36,044
	%	42.0%	82.6%	47.4%	31.4%	66.0%	33.9%	48.4%	76.7%	58.9%	79.9%	81.0%	109.9%	58.8%
結果	-												×	



事務部門

[電力]

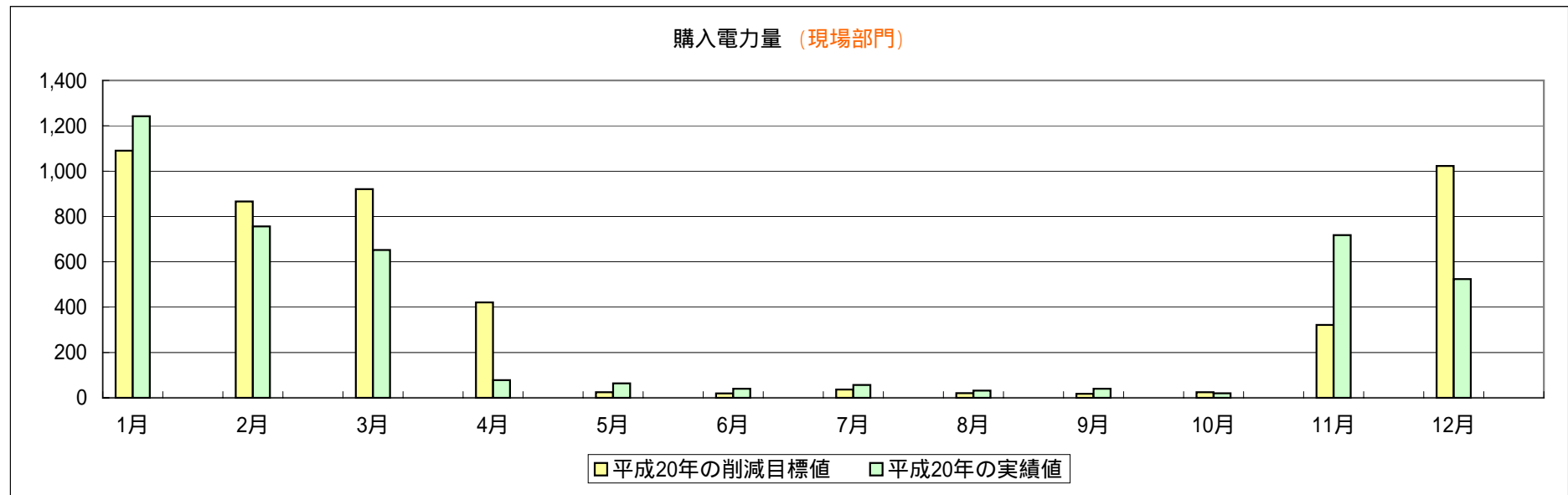
項目	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計
平成19年の実績	kwh	2,676	2,714	2,394	2,046	1,825	1,467	1,786	2,523	2,470	1,700	1,926	2,870	26,397
平成20年の削減目標値(前年同期間比)	kwh	2,649	2,687	2,370	2,026	1,807	1,452	1,768	2,498	2,445	1,683	1,907	2,841	26,133
平成20年の削減目標率(前年同期間比)	%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
平成20年の実績値	kwh	3,603	3,523	3,114	2,212	1,937	1,605	1,753	3,196	2,515	1,920	1,915	2,401	29,694
	%	134.6%	129.8%	130.1%	108.1%	106.1%	109.4%	98.2%	126.7%	101.8%	112.9%	99.4%	83.7%	112.5%
結果	-	×	×	×	×	×	×		×	×	×			×



現場部門

[電力]

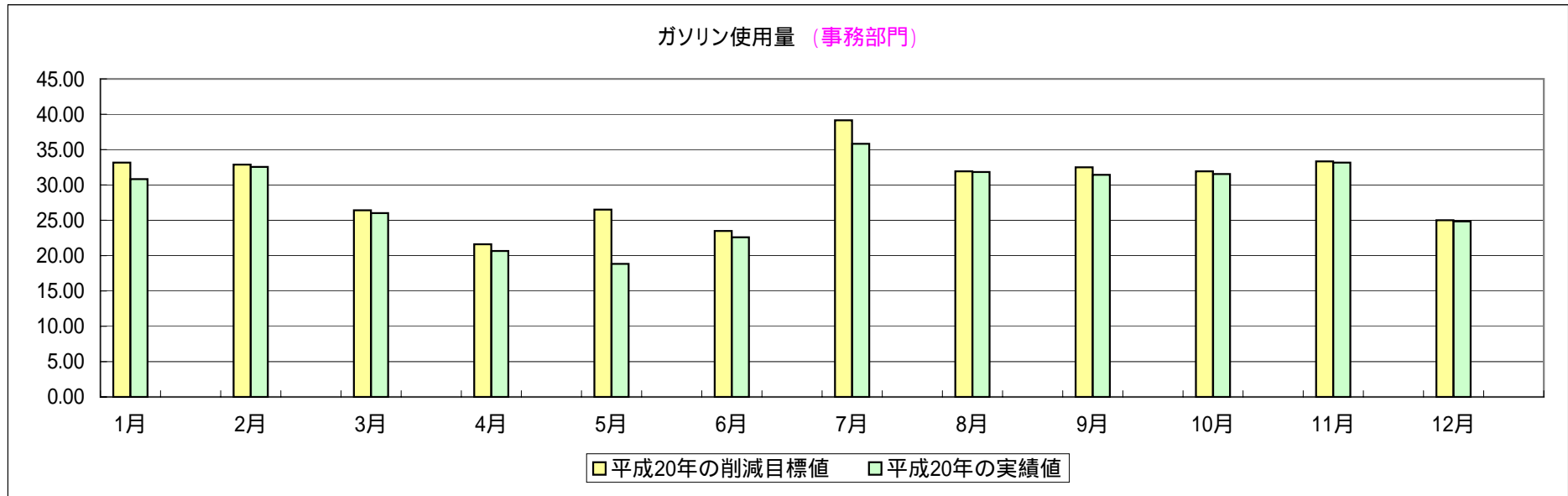
項目	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計
平成19年の実績	kwh	1,101	875	930	425	25	20	37	21	18	25	325	1,033	4,835
平成20年の削減目標値(前年同期間比)	kwh	1,090	866	921	421	25	20	37	21	18	25	322	1,023	4,787
平成20年の削減目標率(前年同期間比)	%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
平成20年の実績値	kwh	1,242	756	652	78	64	40	57	32	40	20	718	524	4,223
	%	112.8%	86.4%	70.1%	18.4%	256.0%	200.0%	154.1%	152.4%	222.2%	80.0%	220.9%	50.7%	87.3%
結果	-	×				×	×	×	×	×		×		



事務部門

[ガソリン]

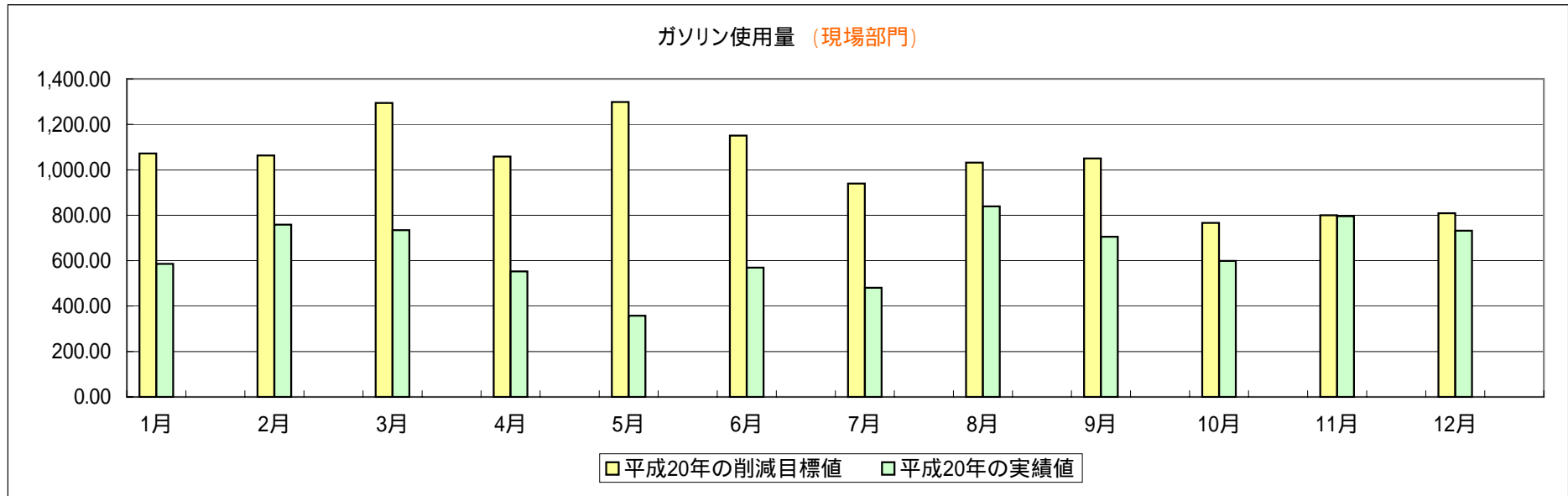
項目	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計
平成19年の実績	ℓ	33.49	33.21	26.69	21.82	26.77	23.73	39.55	32.24	32.82	32.24	33.67	25.26	361.49
平成20年の削減目標値(前年同期間比)	ℓ	33.16	32.88	26.42	21.60	26.50	23.49	39.15	31.92	32.49	31.92	33.33	25.01	357.88
平成20年の削減目標率(前年同期間比)	%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
平成20年の実績値	ℓ	30.83	32.56	26.02	20.66	18.83	22.59	35.83	31.84	31.44	31.54	33.16	24.84	340.14
	%	92.1%	98.0%	97.5%	94.7%	70.3%	95.2%	90.6%	98.8%	95.8%	97.8%	98.5%	98.3%	94.1%
結果	-													



現場部門

[ガソリン]

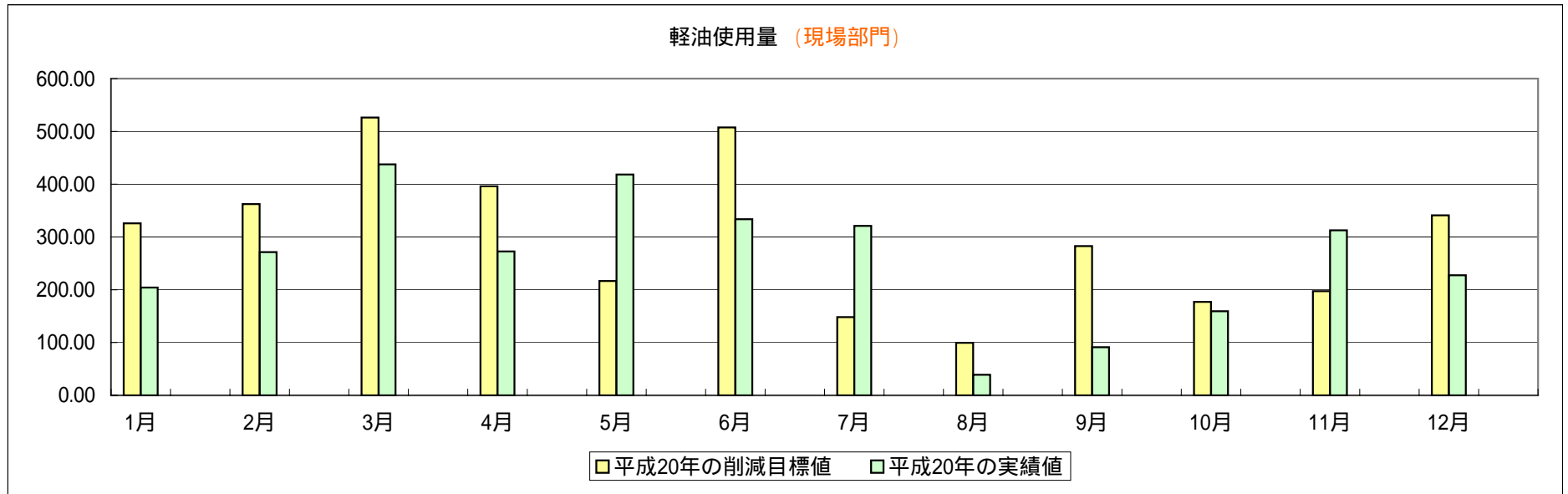
項目	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計
平成19年の実績	ℓ	1,082.64	1,073.54	1,307.52	1,068.88	1,311.55	1,162.34	949.19	1,042.32	1,060.89	773.73	808.08	816.68	12,457.36
平成20年の削減目標値(前年同期間比)	ℓ	1,071.81	1,062.80	1,294.44	1,058.19	1,298.43	1,150.72	939.70	1,031.90	1,050.28	765.99	800.00	808.51	12,332.79
平成20年の削減目標率(前年同期間比)	%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
平成20年の実績値	ℓ	585.76	758.59	734.25	552.51	357.72	569.14	480.68	838.93	705.31	599.15	795.64	731.92	7709.6
	%	54.1%	70.7%	56.2%	51.7%	27.3%	49.0%	50.6%	80.5%	66.5%	77.4%	98.5%	89.6%	61.9%
結果	-													



現場部門

[軽油]

項目	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計
平成19年の実績	ℓ	329.13	365.90	531.56	400.08	218.91	512.73	149.63	100.50	285.51	178.89	199.42	344.41	3,616.67
平成20年の削減目標値(前年同期間比)	ℓ	325.84	362.24	526.24	396.08	216.72	507.60	148.13	99.50	282.65	177.10	197.43	340.97	3,580.50
平成20年の削減目標率(前年同期間比)	%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
平成20年の実績値	ℓ	204.3	271.31	437.69	272.63	418.42	333.69	321.08	39	91.2	159.38	312.61	227.54	3,088.85
	%	62.1%	74.1%	82.3%	68.1%	191.1%	65.1%	214.6%	38.8%	31.9%	89.1%	156.8%	66.1%	85.4%
結果	-					×		×				×		



C. 2008年度の評価結果(是正処置)

評 価	電 力	<ul style="list-style-type: none"> ・現場部門での使用量は工種に左右される為仕方ないが、事務部門では電気の消費を抑える必要がある。 ・事務所内での電気使用については、まだまだ社員の意識が足りない。
	ガソリン	<ul style="list-style-type: none"> ・工事現場までへの距離等が影響してくるので月ごとの増減は仕方ないが、1人1人の心がけによりさらに削減が可能。
	軽 油	<ul style="list-style-type: none"> ・軽油は主に重機用として使用している為、重機の使用頻度に応じて月ごとの使用量の増減が激しい結果となった。
是正処置	電 力	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21の意識を高める為に、定期的に勉強会を実施する。 ・エアコンの設定温度、消灯励行を声を掛け合い実行にうつす。
	ガソリン	<ul style="list-style-type: none"> ・現場への乗り合わせ意識を高め、それを実施する。特に遠くの現場へ行く時は、声を掛け合って乗り合わせを実行する。 ・効率の良い移動を心掛ける。
	軽 油	<ul style="list-style-type: none"> ・結果的には問題なかったが、数字だけにとらわれず、指定がなくても排出ガス対策型建設機械の使用等、環境にやさしい建設機械の使用を心掛ける。
予防措置	電 力	<ul style="list-style-type: none"> ・電化製品を買い換えするときは、省エネ性能を重視して購入する。 ・不使用時のパソコン電源オフ。 ・昼休みの消灯。 ・室内温度の調整。
	ガソリン	<ul style="list-style-type: none"> ・燃費の悪い車の走行量を減らす。 ・近場への移動は自転車を使用する。
	軽 油	<ul style="list-style-type: none"> ・不使用時エンジンの停止等を徹底させる。

【勉強会の様子】



【エアコン設定温度の掲示】



【消灯励行の掲示】



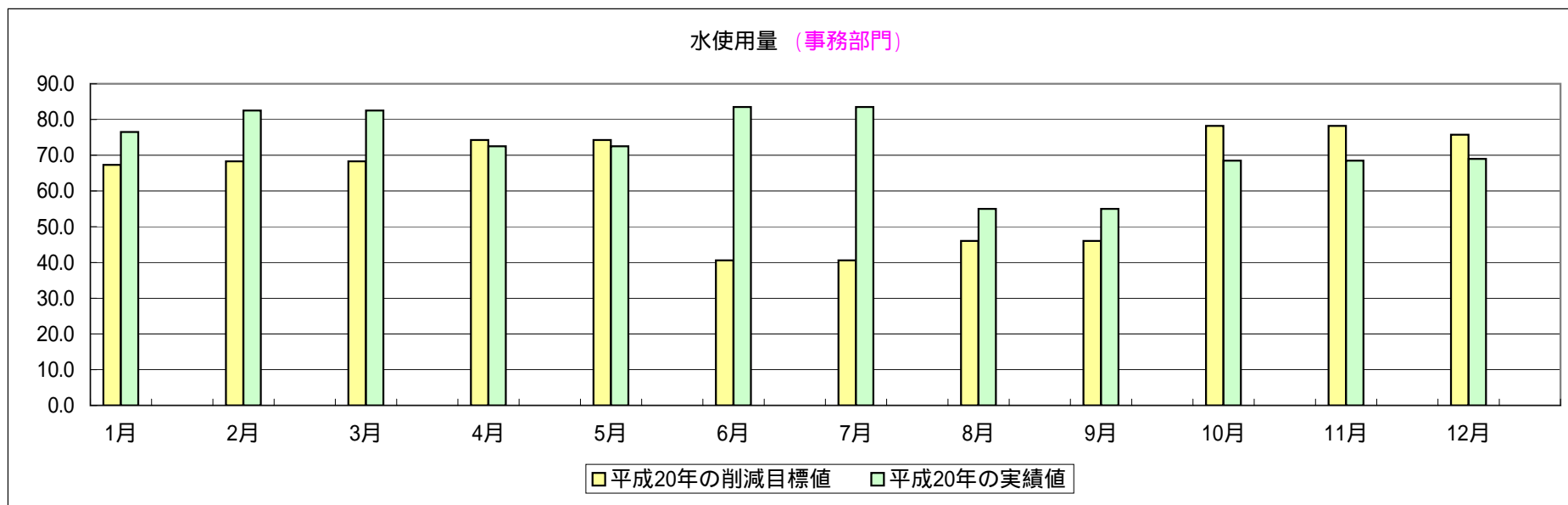
水資源投入量の削減について

A. 短期目標と実績及び結果

事務部門

項目	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計
平成19年の実績	m ³	68.0	69.0	69.0	75.0	75.0	41.0	41.0	46.5	46.5	79.0	79.0	76.5	765.5
平成20年の削減目標値(前年同期間比)	m ³	67.3	68.3	68.3	74.3	74.3	40.6	40.6	46.0	46.0	78.2	78.2	75.7	757.8
平成20年の削減目標率(前年同期間比)	%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	99%
平成20年の実績値	m ³	76.5	82.5	82.5	72.5	72.5	83.5	83.5	55.0	55.0	68.5	68.5	69.0	869.5
	%	112.5%	119.6%	119.6%	96.7%	96.7%	203.7%	203.7%	118.3%	118.3%	86.7%	86.7%	90.2%	113.6%
結果	-	×	×	×			×	×	×	×				×

現場部門は負荷も少なく、無駄使いもしていないのでここでは省略します。



B. 2008年度の環境活動計画と結果

推 進 計 画		活 動 内 容	担当部署	年間スケジュール											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
産業廃棄物 排出量の 削減	コピー用紙 使用量の削減	ミスコピー、ミスプリントを無くす様、印刷前に書類を再度確認する。	事務部門	←→											
		コピー用紙は、裏面の再使用を徹底する。	事務部門	←→											
		電子メール、電子FAXを利用し、ペーパーレス化を図る。	事務部門	←→											
	産業廃棄物排出量 の削減	産業廃棄物が適正に処理されているか、マニフェスト伝票で確認する。	現場部門	←→											
		木材、型枠等の建設資材は繰り返し使用し、産業廃棄物の削減を目指す。	現場部門	←→											
	一般廃棄物排出量 の削減	使い捨て製品の使用や購入を抑え、再使用・リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。	事務部門 現場部門	←→											
		可燃物、不燃物等の分別回収を徹底する。	事務部門 現場部門	←→											
	グリーン購入について	トイレトーパー・名刺等は、再生紙を使用する。	事務部門	←→											
		エコマーク商品、再生材料から作られた製品を優先的に購入、使用する。	事務部門	←→											

C. 2008年度の評価結果(是正処置)

<p>評 価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ミスコピー・ミスプリントは多少あったが、使用済み用紙の裏紙利用は徹底していた。 ・電子FAXについては、受信は徹底していたが、送信面ではまだ改善の余地がある。 ・産業廃棄物は、工種により排出量の差は激しいが、従来より規定に基づいた処理を行っている。 ・一般廃棄物は、リサイクルの意識を高める必要がある。 ・グリーン購入、再生資材の使用については、意識的に取り組んでいる。
<p>是正処置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コピーする際に、誤字脱字、用紙設定、文字サイズ等、見直しを徹底する。 ・電子メディア等の利用により、さらなるペーパーレス化を目指す。 ・産業廃棄物は、徹底出来ているので、このままの状態と保っていく。 ・一般廃棄物については、再使用・リサイクルしやすい製品を優先的に購入・使用するよう心掛ける。 ・グリーン購入に関しては、まだ気付かぬところでエコ商品でないものを使っている可能性があるため、次回購入の際にはエコ商品を選ぶ。
<p>予防措置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コピーする際に、誤字脱字、用紙設定、文字サイズ等、見直しを徹底する。 ・全員のパソコンから電子メール・電子FAXが使用できるように設定を整える。 ・収集運搬前に建設廃棄物処理委託契約書を作成し、運搬毎にマニフェスト伝票を提出する。 ・一般廃棄物については、詰替可能な製品の利用等により製品の長期使用を進めていく。 ・プリンターのインクカートリッジは電器屋さんのリサイクルボックスに捨てるよう徹底する。 ・現在使用している製品がエコ商品かどうかの確認をする。 ・事務用品や資材を購入する際には、安易に現在使っている製品と同じ物を購入するのではなく、カタログをしっかりと見てエコマーク、グリーンマークの製品を選ぶ。

6. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

点検者: 斎藤 兼司

当社に該当する主な環境関連法規

平成 21 年 1 月 23 日

該当する環境法規制	法令のポイント	対応策	遵法評価結果
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において、適正に処理しなければならない。 ・産業廃棄物の運搬、処分は許可を受けた者が実施する。 ・産業廃棄物の発生から、最終処分終了まで、適正に処理がなされるよう必要な措置を講じるよう努める。 	産業廃棄物マニフェストの管理(5年間保管)	
		廃棄物処理経路の明確化	
		建設廃棄物処理委託契約書(5年間保管)	
		収集運搬業許可期限の確認	
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物等に係る分別解体等及び再資源化等の義務付け。 	必要書類を作成し、発注者に提出	
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音の基準は、特定建設作業、自動車交通からの騒音を定めている。 	早朝、夜間作業、日曜、祭日の作業の自粛	
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・建設機械等による振動を定めている。 	低騒音、低振動機械の使用遂行	
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽の毎年1回の清掃と、年3回の保守点検をしなければならない。 	年1回の清掃、年3回の保守点検実施	
環境基本法	<ul style="list-style-type: none"> ・環境への負荷をできる限り低減する。 	再生資源の利用	
静岡県環境基本条例			
焼津市環境基本条例	<ul style="list-style-type: none"> ・環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築と、人と自然が共生することができる健全で恵み豊かな郷土の環境の保全・創造を目指す。 	資源の循環的利用、廃棄物の減量、電気その他のエネルギーの浪費の防止等	

上記関連法規制の遵守状況の評価結果、環境法規制の逸脱、違反はありませんでした。また、協力業者においても上記法規制を守らせる為の指導をし、周知徹底させる。

訴訟等の有無

過去3年間にわたって、関連機関からの違反指摘及び利害関係者からの苦情・訴訟等はありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直し結果

代表者による全体の評価と見直しを行った結果は、事項の通り。

見直し実施日	2009年1月23日	見直し者	代表者
収集した情報	<p>エコアクション経営システムの構築状況 構築以降のシステムの運用状況 運用開始以降の目標達成状況、環境活動計画実施状況 その他、環境管理責任者の意見</p>		
評価内容	<p>環境経営システムが、有効に機能しているか。 環境への取り組みは、適切に実施しているか。</p>		
社長の評価結果及び環境方針、目標、計画等の変更の必要性の判断	<p>現場部門と事務部門とで、大きな差が出た結果となった。</p> <p>ほとんどの項目で目標達成出来なかった事務部門では、社員へのエコアクション21取り組みの一層の徹底や、環境問題等の社員教育を行い、意識向上に努める必要がある。</p> <p>また、大幅に増えてしまった水の排水量(6月～9月)は、水道配管からの漏洩が原因だったので、早急に対処できるよう定期的な点検が必要である。</p> <p>環境活動方針等は要点をおさえているので、変更はせず、このまま継続するものとする。</p>		
環境管理責任者への必要な指示	<p>環境活動計画のより一層の周知徹底を図るため、さらに取り込み意識の向上を図り、一人一人が受け身ではなく積極的かつ具体的な施策を見だし、実施できるような推進サイクルを築いていただきたい。</p>		

代表取締役 齋藤 正人